

●三位一体主日

泉のほとり

今月の詩編「第二十九編」

神の子らよ、主に帰せよ

栄光と力を主に帰せよ

御名の栄光を主に帰せよ。

聖なる輝きに満ちる主にひれ伏せ。



神の偉大な業が語られた

過越祭の子羊が屠られる時、主イエスは屠られるいけにえとして十字架で死なれました。そして、過越祭の後の安息日から50日目、すなわち主イエスの復活から七週を数える七週祭、ギリシヤ語でペンテコステ、漢字では「五旬祭」とも表します。この日に主イエスが約束された「聖霊」が来てくださったのです。そのため、私たちはこの日を「聖霊降臨日」と呼び、お祝いします。

この七週祭には、収穫した小麦の初穂を神にささげるよう命じられていました。神の前にささげられる、小麦の初穂のように、弟子たちが一つに集まっていたところに、突然、激しい風が吹いて来るような音が天から聞こえ、家中に響いたのです。

その時、「炎のような舌が分かれて一人一人の上にとどまった」とあります。火ではなく、「火のような舌」が個々の弟子の上に現れたのです。弟子たちは聖霊に満たされ、「聖霊が語らせるままに、他国のことばで話し出した」と記されています。「他国のことば」は直訳で「別の舌たちで」です。彼らの舌に、別の舌が授けられ、彼ら自身も知らない言語で話したのでした。

エルサレムには世界各地からユダヤ人たちが集まっており、弟子たちが自分の故郷の言葉で話しているの聞き、「皆ガリラヤの人ではないか、なぜ私たちはめいめいが生まれた故郷の言葉を聞くのか」と驚きました。中には遠く2000キロ離れた地から来た人もいました。ガリラヤ人が彼らの言語で、「神の偉大な御業」を語っているのを聞いたのです。

神は人に言語を与えられました。創世記では、アダムが動物に名前を与える場面があり、人は言葉を生み出す存在とされました。聖霊が人にな言葉を与えるのは、神の創造の力の現れです。

人々は外国語を話す弟子たちに驚きましたが、それは始まりに過ぎません。聖霊は新しい舌だけでなく、人を新しく創造されるお方なのです。主イエスもヨハネ3章で「人は聖霊によって新しく生まれなければ神の国に入ることはできない」と語られました。十字架の前も復活

後も「聖霊を受けなさい」と語られ、ついに約束された聖霊が弟子たちに臨まれたのです。人が新しくされる恵みの時代の始まりです

使徒ペテロは「これは預言者ヨエルの預言の実現である」と語ります。120人ほどの弟子たちが、ヨエルの預言にあるように、「若者も老人も僕も婢女も」、預言者のように、神の御業を語っていたのです。

預言者は神のことばを受け、混じり気のないまま民に伝える神の「舌」となる存在です。嘲りや偽りのない、神の御心一つになった舌を持っていました。更には神のことばを伝えては民から迫害を受け、神のお怒りの前では、民のために執りなす者たちでした。ですから、ペンテコステに起こったことは単なる現象ではなく、聖なる神の預言者たちのように、神の御心を知る、神の御心で語る者へと、聖霊は人を新しくしてくださるお方であることを教えているのです。

人の舌が変われば、その人自身が変われたと言えます。自分のための言葉、自分の義、自分の主張に満ちていた舌が、神の御業を語る舌となる。これはまさに偉大な御業です。

主イエスは十字架の上で、嘲りにも耐え、「彼らをお赦しください」と祈られました。この聖なる主イエスの舌は、主イエスが聖なる方であるからです。

主は「あなたを迫害する者のために祈れ」と言われました。これは人間にはなし得ないことでしよう。しかし聖霊は、迫害する者たちのために祈られた主イエス、執り成した預言者のように、私たちの舌を清くし、存在を新しくしてくださるというのです。ここにこそ、人の希望があるのではないのでしょうか。聖霊はこの世の一時的な金銀ではなく、永遠に変わらないものを与えてくださるのです。

聖霊降臨日に、大きな恵みの時代が始められたことを心に刻み、人にはできないことを成してくださる聖霊の御業を慕い、私たちも「聖霊なる主よ、私にきよい、新しい心を授け、舌を新しくしてください」と祈ってまいりましょう。残りの生涯、聖霊の創造の御業を日々経験し、驚き、賛美して歩みたいと心から願います。

2025年度

教会全体課題

聖書の御言葉に生きる。

わたしたちのヴィジョン

主イエスの愛の中で、

愛と交わりを通して

お互いに成長する教会

《今日のお知らせ》

○ 定例役員会をカナルルームで行います。役員の方はお集まりください。

○ 本日、宮間彰広兄は日本基督教団 聖書之友教会で奉仕のため不在です。

《ぶどうの会より》

本日、ぶどうの会を第二・三シオンルームで行います。

《礼拝伝道委員会より》

次々週、六月二十九日の主日礼拝後、ホールにて青年会が企画してくださった楽しい交わりの会があります。どなたでもお気軽にご参加いただけるレクリエーション企画です。

ぜひ皆さまお誘いあわせの上、ご参加ください。

《シオンの会より》

六月一八日（水）一〇時三〇分～一二時シオンの会を第二第三シオンルームで行います。（オンラインも併用します。）

テキスト「使徒言行録を読もう」P.二三三イエスの名によつて歩きなさい！（三章一～一六節）を読みます。参加をご希望の方は川越啓子姉までご連絡ください。

《ルツの会より》

次週二三日礼拝後、カナルルームでツルの会を行います。民数記三、四章を学びます。聖書、讃美歌をお持ちの上、ご参加ください。

《交 読 詩 篇》

※会衆は太字の箇所を唱和します。

〔司・会〕の箇所は司式者と会衆が合わせて唱和します。

【詩篇二十九篇】賛歌。ダビデの詩。

神の子らよ、主に帰せよ

栄光と力を主に帰せよ

御名の栄光を主に帰せよ。

聖なる輝きに満ちる主にひれ伏せ。

主の御声は水の上に響く。

栄光の神の雷鳴はとどろく。

主は大水の上にいます。

主の御声は力をもって響き

主の御声は輝きをもって響く。

主の御声は杉の木を砕き

主はレバノンの杉の木を砕き

レバノンを子牛のように

シルヨンを野牛の子のように躍らせる。

〔司・会〕

主の御声は炎を裂いて走らせる。

主の御声は荒れ野をもだえさせ

主はカデシュの荒れ野をもだえさせる。

主の御声は雌鹿をもだえさせ

月満ちぬうちに子を産ませる。

神殿のものみなは唱える「栄光あれ」と。

主は洪水の上に御座をおく。

とこしえの王として、主は御座をおく。

〔司・会〕

どうか主が民に力をお与えになるように。

主が民を祝福して平和をお与えになるように。

《今日の子ども礼拝》

●子ども礼拝（午前9時20分・地下ホール）

説教 「イエス・キリストの名によって立つ」

聖書 使徒3章1～10節

説教者 吉村 和雄 名誉牧師

《次週の礼拝》

●子ども礼拝（午前9時20分・地下ホール）

説教 「悔い改めさせ、赦すために」

聖書 使徒5章27～32節

説教者 吉村 和雄 名誉牧師

●主日礼拝（午前10時30分・礼拝堂）

讃美歌 67番 16番

説教 「神がお住みになるのは」

聖書 使徒7章44～50節

説教者 宮間 彰 兄





主日礼拝 (午前10時30分)

讃美歌 69番 341番
説教 「試練の原因は」
聖書 ヤコブ1章12～15節(新約 P.421)
司式 石川 一 兄
聖餐司式 黄 允湜 牧師
説教者 黄 允湜 牧師

前奏曲「いと高きにある神にのみ栄光あれ」 J.S.バッハ

○讃美歌69番

1. さかえに輝く み殿のうちに
あまたの御使 たがいに呼べり
「こよなく畏し 父なる神よ
天にも地にも みいつは満てり」
2. 天なる使の たえなる歌に
ものみな応えて 高らにうたう
「こよなく貴し 子なる主イエスよ
天にも地にも みいつはみてり」
3. 天地こぞりて たたうる歌に
調べを合せて 我らもうたわん
「こよなく清けし みたまの神よ
天にも地にもみいつはみてり」

アーメン

※礼拝のしおりと讃美歌をお持ちください。

○聖歌隊による讃美

「我らはひとつ」 S.Pethel作曲
我らは 聖霊によりて ひとつ
主の愛に囲まれて ひとつとなり
主の子供となる
我らは 互いに仕えあい
感謝の声あげる 御名を讃え
御神を父と呼ぶ
与えられし恵み 分かち合い
異なる賜物 ひとつにして
御言葉伝える技により
我らひとつのものとされる
我らは 聖霊によりて ひとつ
主の愛に囲まれて ひとつとなり
主の子供となる
我らは 互いに仕えあい
感謝の声あげる
主を讃え ひとつに結ばれて
父なる神 讃えん

○讃美歌341番

1. きよけきころを 主よあたえたまえ
つみのきずなより この身をはなちて
2. きよけきころに 主を迎えまつらん
活ける宮として うちに住みたまえ
3. きよけきころに 主よ そそぎたまえ
みかおのひかりを めぐみの清水を
4. きよけきころに 主よ くだしたまえ
うえなるちからを たえなるさとりを
5. きよけきころを 主にささげまつらん
さかゆく御名をば とわにたたえつつ

アーメン

聖餐曲「きよけき心を」 G.バーム

後奏曲「父、み子、み霊のひとりのみ神よ」 D.R.ジョンソン